

世界報道 写真展 2018

記録された瞬間

記憶される

永遠

6.9 SAT - 8.5 SUN



世界報道写真大賞 スポットニュースの部 単写真1位 ロナルド・シュミット AFP通信 2017年5月3日

ベネズエラのカラカスで、ニコラス・マドゥロ大統領への抗議行動中に機動隊との激しい衝突が起こり、火だるまになるデモ参加者

開館時間：10:00～18:00(木・金は20:00まで 但し7月19・20・26・27日 8月2・3日は21:00まで)入館は閉館の30分前まで
 休館日：毎週月曜日(但し7月16日[月]祝開館、翌17日[火]休館)
 観覧料：一般800(640)円／学生600(480)円／中高生・65歳以上400(320)円

■小学生以下、都内在住、在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。
 ■第3水曜日は65歳以上無料。※()は前売り・20名以上の団体料金 ※前売り期間は6月8日まで
 チケットはセブン-イレブン(店内マルチコピー機「セブンチケット」)公演名:世界報道写真展2018東京開催
 でお買い求めいただけます。東京都写真美術館では当日券のみ販売します。

TOP MUSEUM

主催：世界報道写真財団、朝日新聞社 共催：東京都写真美術館
 後援：オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、全日本写真連盟
 協賛：キャンノンマーケティングジャパン株式会社、グッティイメーجزジャパン株式会社
 協力：特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 お問い合わせ：東京都写真美術館 TEL.03-3280-0099

[公式HP] <http://www.asahi.com/event/wpph/>

世界報道写真展 2018

検索

[公式Twitter] 世界報道写真展 (@wppjapan)

NATIONALER
POSTCODE
LOTTERIJ

Canon

世界報道写真財団のワールドスポンサーはキャンノン、ワールドサポーターは「オランダ郵便番号くじ」です。



世界報道写真展²⁰¹⁸ WORLD PRESS PHOTO

①	②
③	④ ⑤

記録された瞬間 記憶される永遠

世界中の約100会場で開催される世界最大級の写真展「世界報道写真展」は今年で61回目を迎えます。今回は、125の国と地域から4,548人のフォトグラファーが参加し、73,044点の応募がありました。その中から「現代社会の問題」、「一般ニュース」、「長期取材」、「自然」、「人々」、「スポーツ」、「スポットニュース」、「環境」の部の8部門において、22カ国42人の受賞が決まりました。

「一般ニュースの部」では、イヴォール・ブリケットがイスラム国 (ISIS) からのモスル奪還を巡る戦いに巻き込まれる市民や廃墟と化した街を捉えています。また、「人々の部」ではイスラム過激派「ボコ・ハラム」の誘拐から逃げだし、自爆用の爆弾から免れた少女たちの姿をアダム・ファーガソンが撮影しました。このほか、密猟者からの保護のため自由を脅かされざるを得ない動物、大統領に対するベネズエラでの抗議活動の様態など、世界の「いま」を克明に伝える写真の数々を紹介します。

① 人々の部 組写真1位 アダム・ファーガソン

ニューヨーク・タイムズに提供 2017年9月21日
ナイジェリアで「ボコ・ハラム」の戦闘員に誘拐された少女の肖像。爆発物を身体に縛りつけられ、自爆するよう命じられたが、逃げ出し、助けを得ることができた。

② 自然の部 単写真2位 トマス・P・ベジャク

2017年4月18日
インド洋に浮かぶ南ア領南極地域のマリオン島で、岩に覆われた海岸線を切り抜ける行動でその名にこたえるイワトビペンギン。

③ 環境の部 単写真1位 ニール・アルドリッジ

2017年9月21日
麻酔をかけられ目隠しをされた若い白サイ。密猟者たちからの保護のために南アフリカからボツワナのオカバンゴデルタに移され、解放されるのを待っている。

④ 一般ニュースの部 組写真1位 イヴォール・ブリケット

ニューヨーク・タイムズに提供 2017年7月12日
イラク軍特殊部隊の兵士によって手当てをうける男の子。イスラム国 (ISIS) からのモスル奪還をめぐる戦闘では数千におよぶ市民が殺され、街の大部分が廃墟と化した。

⑤ スポーツの部 組写真1位 アラン・シュローダー

レポーターズ 2017年9月24日
インドネシア、スンバワ島の伝統、マエン・ジャラン競馬では、子供の騎手たち(5~10歳)が裸足のまま防具もほとんど付けずに小さな裸馬に乗る。

EVENT フォトジャーナリスト 安田菜津紀・渋谷敦志 × 国境なき医師団 ~人道危機の現場で、人々に寄り添うこと~

6月30日(土) ゲスト①: 安田菜津紀 14:00~15:00
ゲスト②: 渋谷敦志 16:00~17:00

会場: 東京都写真美術館 1階スタジオ / 定員: 先着各50名
参加費: 聴講無料 / 申込不要 (当日10:00より1階総合受付で整理券を配布します)
※世界報道写真展2018の展覧会チケットが必要です。

国際的な医療人道援助団体「国境なき医師団」の現地で活動するスタッフが、世界各地の取材を続けるフォトジャーナリストを迎えてトークを行います。

主催: 朝日新聞社、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

※詳細は公式ホームページ <http://www.asahi.com/event/wpjh> をご確認ください。

フォトドキュメンタリー・ワークショップ

講師: Q. サカマキ (写真家「世界報道写真展2007」受賞者)
外山俊樹 (朝日新聞社映像報道部)

7月14日(土)~16日(月・祝) / 3日間連続 / 定員: 20名
事前申込制 / 参加費: ¥20,000
会場: 東京都写真美術館 1階スタジオ

東京都写真美術館は、21世紀のフォトドキュメンタリー／フォトジャーナリズムについて実践的な方法を考えるワークショップを開催いたします。フォトドキュメンタリーの最前線で活躍する講師を迎え、レクチャー、ポートフォリオ・レビュー、クイック・ヒット・エッセイ制作を3日間で行います。国内では数少ないフォトドキュメンタリー／フォトジャーナリズムの現場を学べるプログラムです。

主催: 東京都写真美術館 共催: 朝日新聞社

※詳細は東京都写真美術館ホームページ <http://www.topmuseum.jp> をご確認ください。

至 渋谷 東口 動く通路
JR恵比寿駅
日比谷線恵比寿駅 1番出口
恵比寿ガーデンプレイス
TOP MUSEUM

153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
TEL 03-3280-0099 www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅より徒歩約7分
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
当館には専用の駐車場はございません。
お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM